

第6回

稲築中学校区小中一体型校施設整備協議会

資料

平成30年12月27日

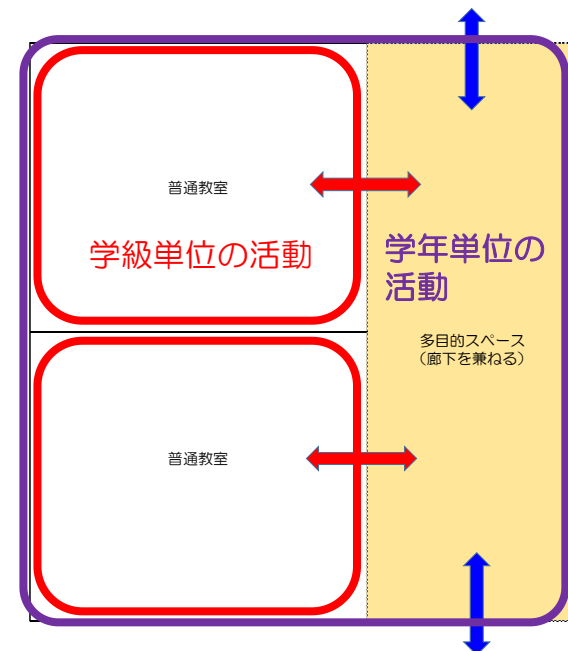
小中一体型校における教室形状について

普通教室の空間構成

日常的に展開される多様な学習内容・学習形態に弾力的に対応できる空間構成

小学校

- オープンスペース型とし、学年ごとにユニットを構成
- 広い廊下が多目的スペースを兼ね、学年単位でのまとまりを重視
- 普通教室とオープンスペースの間には可動式の間仕切りを設置し学級単位の活動に対応

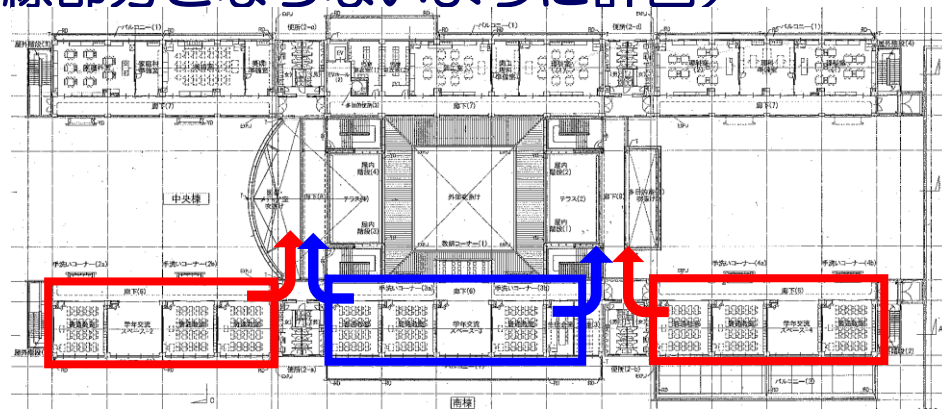
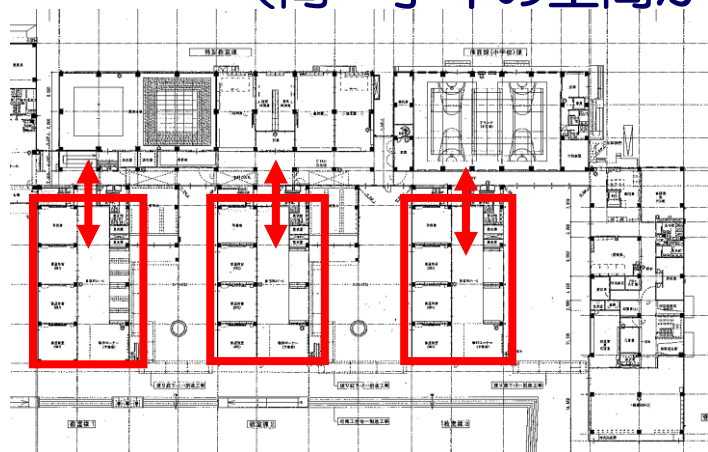


中学校

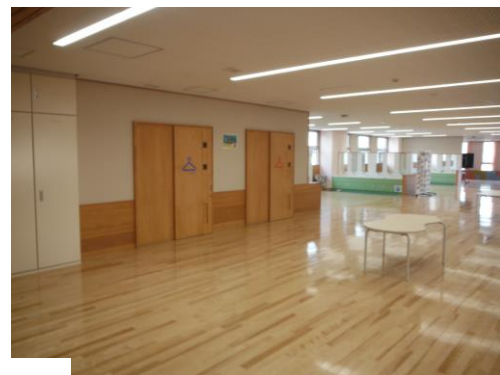
- 生徒が主体的に学ぶことを重視して、大型モニターなどの情報機器を備えた教科教室を2～3教室配置
- 落ち着いた学級活動が確実に実施できるよう、普通教室同等のホームベース (HB) を配置し、教科教室を配置していない教科についてはHBで授業を実施
- 教室外にロッカースペースを配置し、スッキリした教室内環境を目指す

小学校：学年ユニット配置の考え方

(同一学年の空間が通過動線部分とならないように計画)



学年ユニット出入口



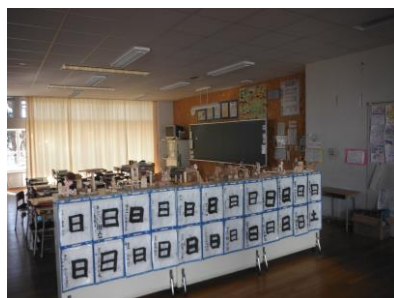
オープンスペース



小学校：可動式の間仕切り



教室とオープンスペース間
可動式の間仕切りの例
(※一体型校に採用予定)



移動ロッカーで簡易間仕切り防
音性能無し

中学校ロッカースペース



十分なロッカー容積を
確保



※中学生ロッカーとしては容量不足！

3.空間計画、平面計画について

児童、生徒の動線を考慮した普通教室、特別教室、管理諸室などの配置（ゾーニング）、階数の検討

<主なご意見>

- 児童生徒の安全安心を最大限配慮してほしい。
- 学校内に部外者が入れないように配慮してほしい。
- 児童生徒と来客者、車両の動線を明確に分離してほしい。
- 昇降口は、中学生の自転車通学動線と小学生の歩行通学動線の分離等、児童生徒の安全を確保できる動線を検討してほしい。
- 学校内のゾーニングについては、学校職員の意見を取り入れてほしい。
- 学年配置は状況に合わせて変更できるようにしてほしい。
- 小学校低学年の近くに職員室と保健室を配置してほしい。
- 小学グラウンドと中学グラウンドは分離配置がよい。
- 小学生と中学生の校舎内の接点は多すぎない方がよいのでは。
- 教員が同じ情報を共有できる校舎がよい。
- 現状で送迎車両が学校近隣に停車して迷惑をかけている。送迎車両の対応も検討してほしい。
- 小学校低学年には遊具広場などのスペースも必要だと感じる。
- 給食センター跡地も含めて計画を検討してほしい。
- 地域交流ゾーンと学校ゾーンを明確に区分けしてほしい。
- 職員室から不審者対応がしやすい配置にしてほしい。
- 特別支援学級は年々増えているので、余裕のある計画をしてほしい。小学校と中学校に分けてほしい。
- 保健室は外部から寄り付けて水場をそなえ、職員室と連絡を取りやすい場所に配置してほしい。中学生の相談対応も可能な配置にしてほしい。
- 学童と学校の管理は明確に分離してほしい。
- 図書館については特に児童生徒のプライバシーに配慮してほしい。
- 校舎西側をできるだけ広く取ってほしい。
- 図工室と美術室は分けてほしい。
- 技術室は機材の搬入等があるため1階に配置してほしい。